



平成20年 2月27日

各 位

会 社 名 株式会社 東急ストア
 代表社名 取締役社長 高橋 一郎
 (コード番号 8197 東証第1部)
 問合せ先 取締役経理部長 水島 憲太郎
 (TEL 03 - 3711 - 0109 代表)
 当社の親会社 東京急行電鉄 株式会社
 代表社名 取締役社長 越村 敏昭
 (コード番号 9005 東証第1部)

特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行うこととなりましたので、それに伴い、平成19年10月11日の中間決算発表時に公表した平成20年2月期(平成19年3月1日～平成20年2月29日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成20年2月期連結業績予想の修正(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	310,400	6,000	5,000	1,300
今回修正予想(B)	309,400	6,000	5,100	7,000
増減額(B-A)	1,000		100	8,300
増減率(%)	0.3		2.0	
(ご参考) 前期実績(平成19年2月期)	306,489	6,777	5,934	4,421

2. 平成20年2月期個別業績予想の修正(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	252,400	4,200	3,200	700
今回修正予想(B)	252,290	4,360	3,480	7,140
増減額(B-A)	110	160	280	7,840
増減率(%)	0.0	3.8	8.8	
(ご参考) 前期実績(平成19年2月期)	252,127	5,099	4,258	2,939

3. 修正の理由

(連結)

当社の営業収益につきましては、生鮮食品の価格訴求の強化など販促策の効果や、PB（プライベートブランド）商品の拡販、常備商品の品揃えおよび価格の見直しなどにより、回復基調で推移し、営業利益、経常利益は前回発表の予想数値を確保できる見通しであります。

一方で、平成20年3月1日より新中期3か年経営計画をスタートいたしますが、この策定に当たり、経営判断のスピードを高め、安定的な利益拡大を図るため、個別店舗の収益性を精査いたしました。

その結果、一部の店舗において、当期末に特別損失として減損損失47億円を追加計上いたします。

また、新中期3か年経営計画策定に伴い、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、回収が見込めない部分については取崩すこととし、当期末に法人税等調整額45億円を計上いたします。

これらによって、当期純損失は70億円となる見込みであります。

(個別)

主な修正の理由につきましては、上記連結のとおりであります。上記修正のうち、個別におきましては、減損損失39億円の追加計上および法人税等調整額45億円の計上により、当期純損失は71億円となる見込みであります。

なお、期末配当金につきましては、当初公表どおり前期と同様1株当たり5円とする予定であります。

中期3か年経営計画の概要につきましては、別途資料にてお知らせいたします。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上